

Ⅳ-1 子育ての不易流行を考える

【エピソード】

ある日の夜、広末さんは夫とふたりでドラッグストアに出かけました。買い物をしていると小さな子どもたちを連れて若い親がお店に入ってきました。最初はおとなしくしていた子どもたちも、次第に店内を走り回り、床に寝ころんだりしはじめました。でも、親は注意する様子はありません。

次の日、孫を連れて遊びにきた息子に、広末さんはさっそく昨晚の出来事を話しました。

息子：「遅い時間に子どもをつきあわせるのはおかしいと思うけど、何か事情があったかもしれんよ。生活のスタイルやって昔と変わってきゆうし。」

広末：「夜遅く、子どもを連れ回すのは、子どもも疲れちよってかわいそうやったで。子どもには子どもの生活リズムがあるがよ。」

ワーク1

- 広末さんと息子のやりとりを聞いて、感じたことを自由に出し合いましょう。

ワーク2

- あなたが子育てしていた頃と、今の子育てや親について変わらないと感じることは何ですか？



ワーク3①

- あなたが子育てをしていた頃とくらべ、今の子育て環境や親の対応について変わったと感じることは何ですか？

ワーク3②

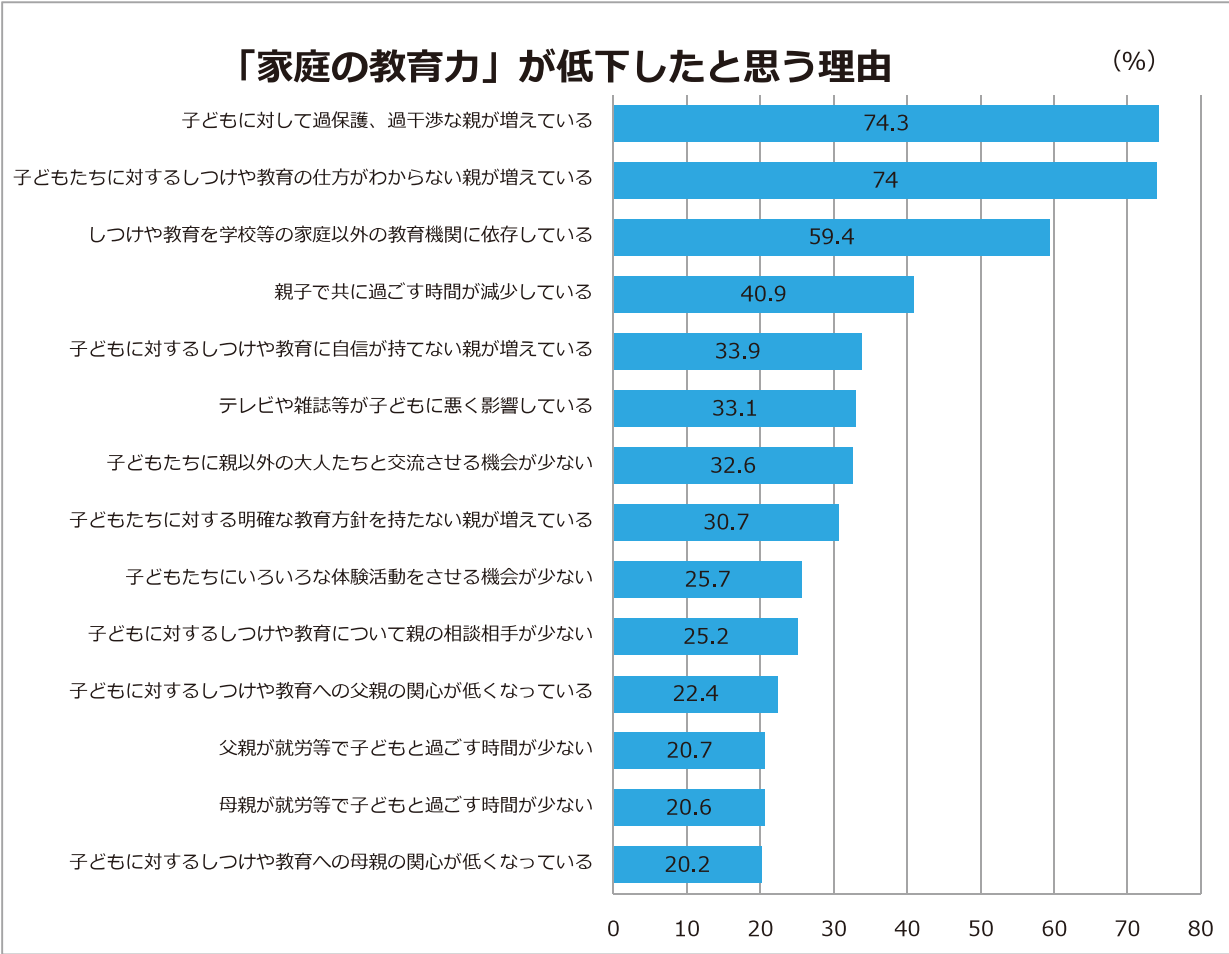
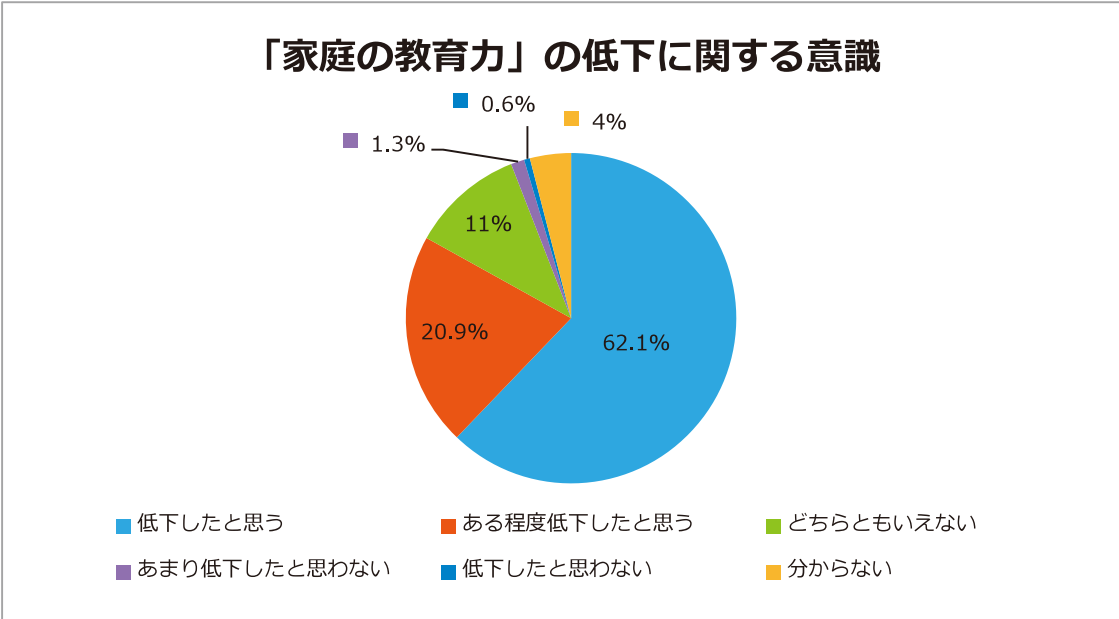
- 変わったと感じることの背景は何だと思えますか？
資料編の資料を参考にして、考えてみましょう。

ふりかえり

- 子どもや子育て家族を応援する地域の大人として、今日からできることは何ですか？



「家庭の教育力」の低下について



出典:平成19年度「家庭教育支援に係る地域の教育力の活性化に関する調査研究報告書」(国立教育政策研究所社会教育実践研究センター)

IV-1

子育ての不易流行を考える

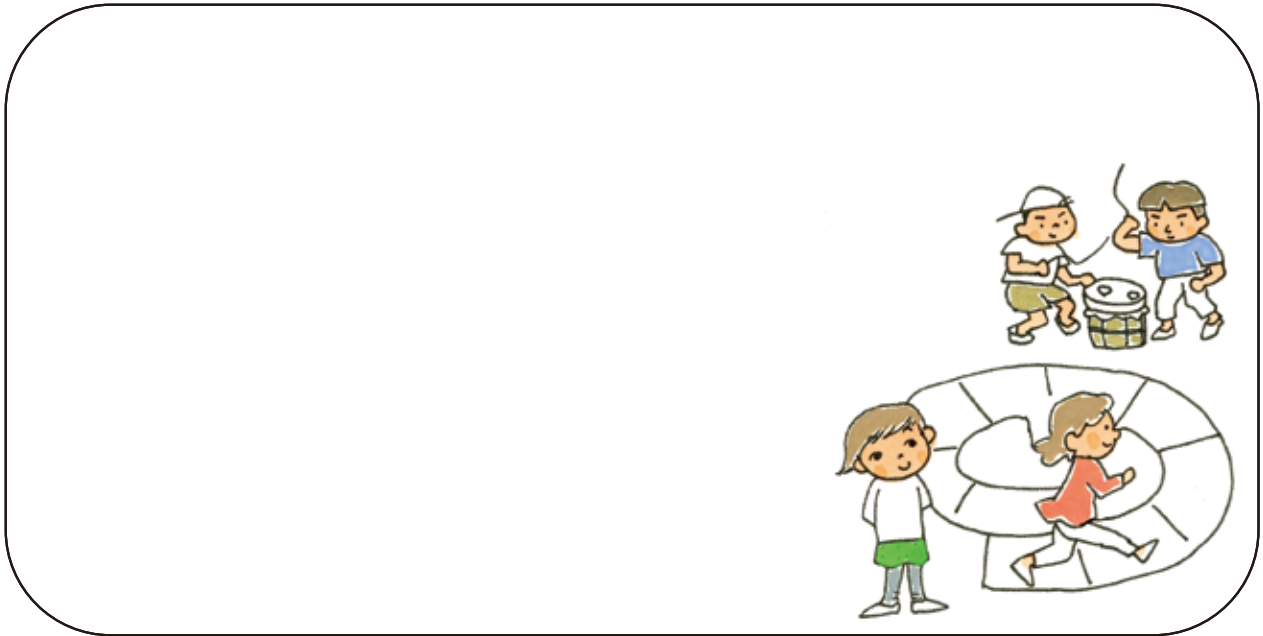
対象：地域の大人
時間：60分程度

ねらい	現代的課題をふまえながら、子育ての不易流行を考え、親世代の子育てを応援する必要性について考える。		
実施のポイント (評価など)	○子育てや親のあり方に関して、変わらない点や変わった点について考え、共有することができる。 (親の批判にならないように注意する。) ○親の努力だけでは解決できない、社会的状況を理解することができる。		
事前準備	○資料 ○付箋紙 ○マーカー ○模造紙 ○記入用紙 ○筆記用具		
時 間	学習活動	学習活動のねらいとポイント	準備物
導 入 10分	ワークの趣旨説明 ○アイスブレイク	・ パースデーチェーン(P.83)をして、4～5人のグループ分けをする。	
展 開 5分	ワーク1 ・ エピソードを読む ・ グループで話し合う。	◎エピソードをもとに、日頃感じていることを出し合うことをねらいとする。 ・ プレインストーミングで自由に感じたことを出してもらおう。 ・ ファシリテーターは、感想が出ていないグループがないかチェックして、必要ならヒントを出す。	付箋紙 マーカー
10分	ワーク2 ・ 変わらないと感じることを付箋紙に記入する。 ・ グループで話し合い、発表する。	◎子育てや親について、変わらないことについて考え、共有することをねらいとする。 ・ 思いついたものを付箋紙に各自が記入して模造紙に貼りグルーピングする。 ・ グループで出た意見を、1分程度で発表し、共有する。	模造紙 タイマー
10分	ワーク3① ・ 変わったと感じることを付箋紙に記入する。 ・ グループで話し合い、発表する。	◎子育て環境や親の対応について、変わったことについて考え、共有することをねらいとする。 ・ 思いついたものを付箋紙に各自が記入して模造紙に貼りグルーピングする。 ・ グループで出た意見を、1分程度で発表し、共有する。	
15～20分	ワーク3② ・ 資料を参考に背景について考える。	◎親の努力だけでは解決できない、社会的状況を理解し、親世代の子育てを応援する必要性に気付くことをねらいとする。 ・ 環境の変化について理解できるように、じっくりと資料を使って考えることができるように説明する。	資料(P.76)
まとめ 10分	ふりかえり ・ できることを記入する。 ・ 発表し合い、共有する。	・ 個々が今日からできることを紙に書いてもらい、グループで紹介して共有する。	記入用紙 マーカー

Ⅳ-2 子どもたちにしてあげたいこと

ワーク1

- みなさんが子どもの頃は、どんな場所で、どんな遊びをしていましたか？
思い出してみましょう。



【エピソード】

万次郎さんは、地域の子どもたちの安全確保に協力しようと、小学校の見守り隊に所属して、近所の子どもたちと毎日あいさつを交わしています。

ある日、いつもあいさつを交わす子どもたちが公園のベンチに座って携帯型ゲーム機で黙って遊んでいます。せっかく一緒に公園で遊んでいるのに、黙々とゲームをしている姿に違和感を感じ、声をかけました。

「せっかく広い公園で遊んでいるのに、どうしてゲームをしているの？」

すると、同じ町内で3年生のかつおくんが、「ぼくの家で遊んでいたけど、お母さんが掃除するから外で遊びなさいって追い出されたの。でも、ゲームしかすることがないし……。」

万次郎さんは、昔は山や川で夢中になって遊んだのに、今の子は外での遊び方を知らないのだろうかと考え込んでしまいました。そして、公園の池にザリガニがたくさんいたことを思い出し、「公園の池にザリガニがたくさんいるから、ザリガニつりをしてみないか？」と誘うと、「やるやる。」「おじさん、やりかた教えて！」と喜んで集まってきました。

万次郎さんが、持ってきた糸とスルメで子どもたちが楽しくザリガニつりをしている姿を、目を細めながら見ていると「この池は危ないので立ち入り禁止になっているんですよ！あの看板を見てください。」と声をかけられました。

万次郎さんは、楽しく遊ぶ子どもたちと立ち入り禁止の看板を前に困ってしまいました。

ワーク2


- あなたが万次郎さんなら、これからどうしますか？

ワーク3

魅力的なテレビゲームやパソコンの普及で子どもたちの外遊びの経験が、少なくなっています。しかし、子どもたちの興味関心は、今も昔も変わりません。子どもたちの遊びや遊び場を制限しているのは、我々大人のほうなのかもしれません。子どもたちの健やかで豊かな成長のために、自分の地域でどんなことができるでしょうか？



- 何ができるかを考え、グループで話し合ってください。

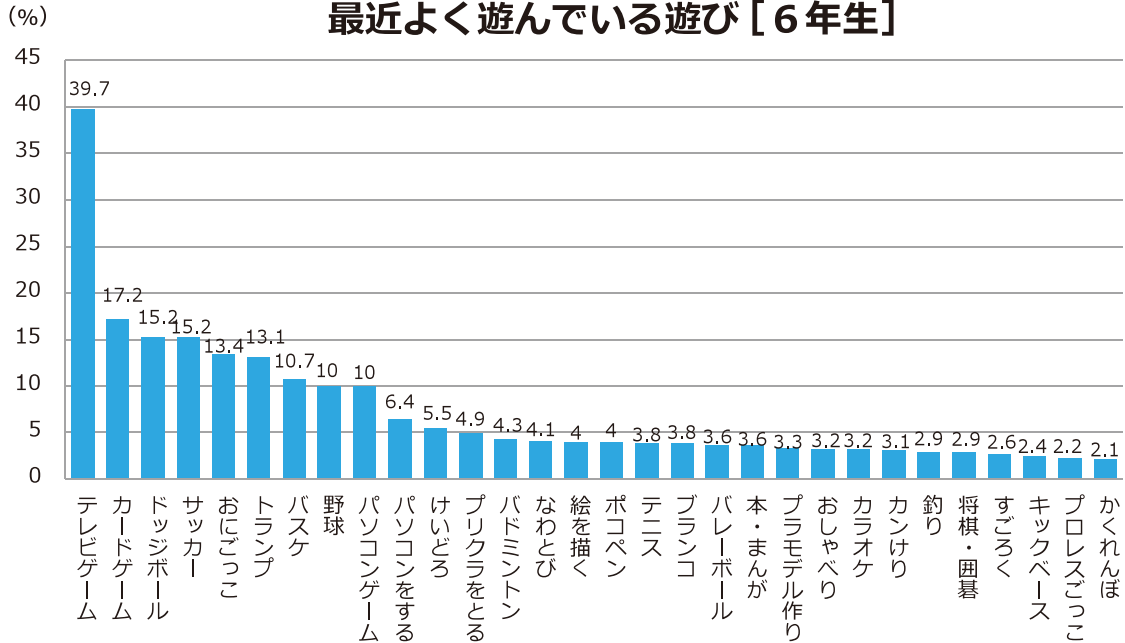
An illustration of a young boy with brown hair, wearing a blue t-shirt, holding a game controller and looking excited. The controller is shown with motion lines around it, suggesting it is being used.

ふりかえり

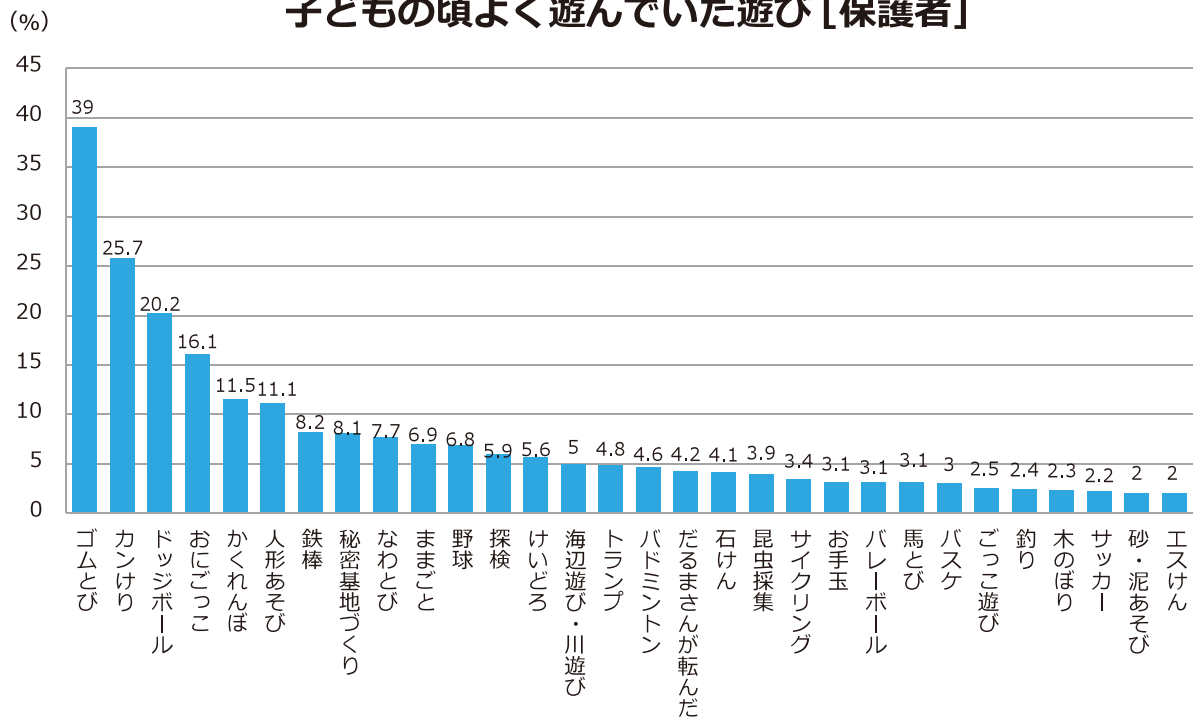
- 今日の学習で印象に残ったことや気付いたことを書いてください。

「遊びたい」・「遊ばせたい」遊びについて

最近よく遊んでいる遊び [6年生]



子どもの頃よく遊んでいた遊び [保護者]



出典:平成16年3月「子どもの遊びに関する調査結果報告書」(全国アウトドア・マリンスポーツ in かながわ実行委員会・神奈川県教育委員会)

ねらい	子どもの豊かな成長のために、地域の大人ができることを話し合い、子育て支援に取り組むきっかけとする。		
実施のポイント (評価など)	地域住民のほとんどは、子どもの様子が気になりながらも、実際に子育て支援に取り組む人は少数であることから、できることから始めてみようという地域の大人の意欲の高まりを引き出すことができる。		
事前準備	○筆記用具 ○資料 ○付箋紙 ○マーカー ○模造紙		
時 間	学習活動	学習活動のねらいとポイント	準備物
導 入 10分	ワークの趣旨説明 ○アイスブレイク	・アイスブレイクの最後に3～4人のグループができるような活動を行う。	
展 開 10分	ワーク1 ・子どもの頃の遊びを思い起こす。 ・グループで紹介する。	◎子どもの頃の遊びを思い起こすことをねらいとする。 ・グループ内で自分が1番好きだった遊びを発表する。	
15分	ワーク2 ・エピソードを読む。 ・解決方法を考える。 ・グループで話し合う。	◎子どもたちの遊びの現状について気付き、大人にできることについて考えることをねらいとする。 ・グループ内で自分の考えを発表し、解決の方法を話し合う。	
20分	ワーク3 ・子育て支援の方法について考え、付箋紙にアイデアを記入する。 ・グループで話し合い、まとまった意見を発表する。	◎地域の大人ができることを話し合うことで、子育て支援に取り組む意識を高めることをねらいとする。 ・ワーク2の解決法などを参考にしながら資料について説明を行い、グループでの話し合いに活用できるようにする。 ・模造紙に貼りながら、自分の地域でどんな取り組みができるか意見を出し合い、グループとしての取組をまとめ発表する。 *グループでの話し合いは、ランキングで時間を短縮することも可能。	資料(P.77) 付箋紙 模造紙
まとめ 5分	ふりかえり ・感想を記入する。 ・発表し合い、共有する。	・学習についての感想を記入し、グループ内で発表する。 ・時間があれば様々な地域で行われている子育て支援の取組を紹介する。	実践事例

Ⅳ-3 親への接し方・子育てアドバイス

子育て広場には、今日もたくさんの親子が訪れ、子どもたちの笑い声が響いています。子どもたちは地域の方に見守られながら、元気に遊んでいます。かたわらではお母さんたちが子どもたちのお世話をしている地域の方と話をしています。お母さんたちも子育てについていろいろな悩みがあるようです。

ワーク1 「つい上の子に……」

●お母さんが次のように話しかけてきました。それぞれの場合について考えてみましょう。



うちは下の子がまだ小さい。どうしても下の子に手がかかって「お兄ちゃんやき、ちょっとぐらい待てるろう？」とか、あんまりうるさいとついお兄ちゃんばかりにきつく言うてしもうて。こんな風にいつも機嫌よく遊んでくれていたら優しくなれるけど。
家では怒ってばかりやし、私って本当にだめよねえ……。

●あなたならどのように答えますか？吹き出しの中に書いてみましょう。



●グループの人の考えも聞いてみましょう。



ワーク2 「私は子どものために一生懸命やっているのに・・・」



うちのお姉ちゃんは小学校2年生なんやけど、本当に忘れ物が多くて困っているんです。前の日には準備しておくように何度も言っているし、朝は必ず忘れ物はないかって声をかけているんですよ。自分でやらせないとためにならないと思って手は出さないようにしているんです。本当にどう言っても子どものほうはまったくのんきで……。私はこの子のことを思って一生懸命やりゆうのに……。もう、どうしたらいいかわからん……。

- お母さんの対応についてどう思いますか。

- あなただったらどのように答えますか。



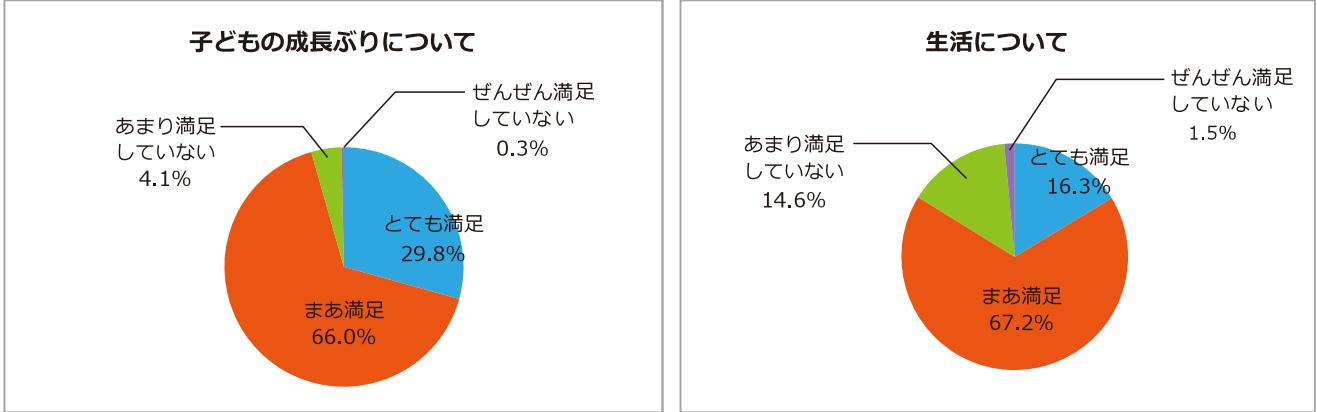
- ・グループの人の考えも聞いてみましょう。
- ・子育て中の親世代は子育てについてどう思っているでしょう。アンケート (P.78) を見てみましょう。

ふりかえり

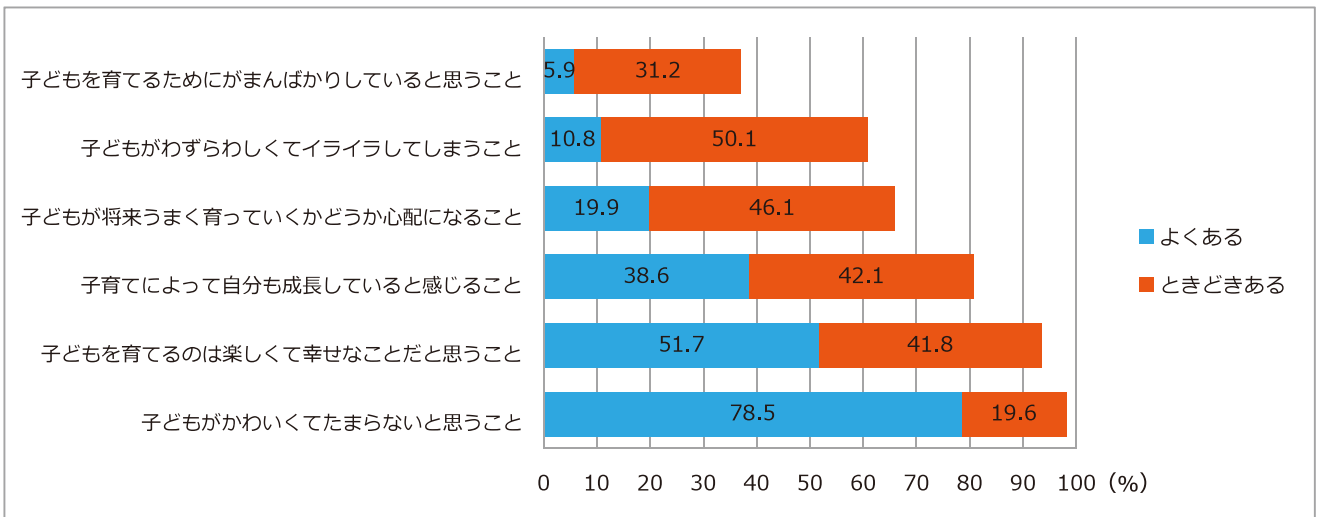
- 自分の中で感じたことや考えが変わったことがあれば書いてみましょう。

子育て意識について

現在の生活や子育てに満足していますか

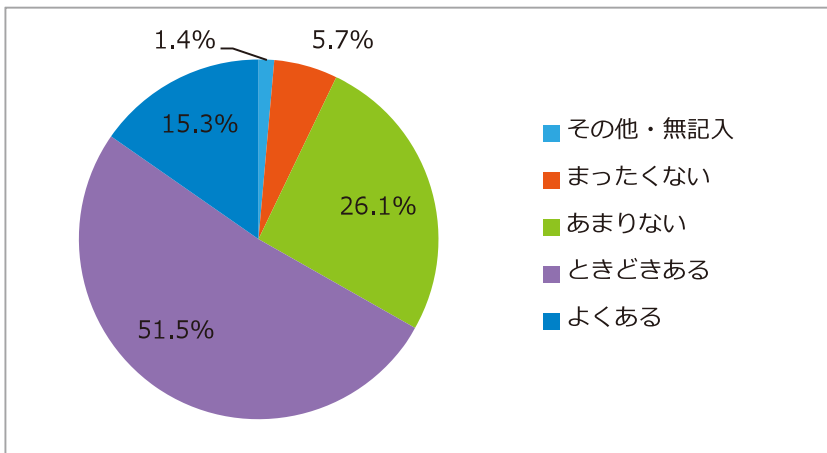


子育てに関してどのような意識がありますか



出典:第3回幼児の生活アンケート調査(2005年度版) Benesse 教育研究開発センターより

育児に自信がなくなることがありますか



出典:第3次岡山いきいき子どもプランの策定に関する県民意識調査より

ねらい	子育て中の親への関わり方や相手が受け入れやすい支援のあり方について考える。		
実施のポイント (評価など)	○グループ内で十分に他の考えを聞くことができる。 ○支援をしていくうえで、子育て中の親の話をしっかり聞いて気持ちを受け止めること、親のがんばりを認めることも大切であることに気付くことができる。		
事前準備	○名札 ○筆記用具 ○資料 ○あらかじめ4名程度のグループに分かれておく		
時 間	学習活動	学習活動のねらいとポイント	準備物
導 入 10分	ワークの趣旨説明 ○アイスブレイク	・自由に飾らずに意見を出し合うためのウォーミングアップをする。	名札
展 開 15分	ワーク1 ・各自の思いを記入する。 ・グループ内で紹介し合う。	◎自分の思いを考えることやグループ内でそれぞれの考えを聞くことを通して、自分の受け止め方や考え方を振り返ることをねらいとする。 (ワーク2でも同様) ・自分に自信がもてない親の気持ちを聞いた時の受け答えを考える。	
20分	ワーク2 ・各自の思いを記入する。 ・グループ内で紹介し合う。	◎子育て中の親の気持ちを受け止めること、親のがんばりを認めることが大切であることに気付くことをねらいとする。 ・子どものことを思って自分はがんばっているのに、うまくいかないと思っている親の対応についてどう思うか、また自分ならどのように答えるかを考える。	
5分	自己紹介 ・子育て意識に関する資料の説明を聞く。 ・気付いたことを発表し合う。	◎多くの親は子育てに不安をもっており、支援していく必要があることに気付くことをねらいとする。	資料(P.78)
まとめ 10分	ふりかえり ・各自の思いを記入する。 ・各自の思いを紹介し、共有する。	・時間があれば、全体の場で多くの人の感想を共有できるようにする。 ・参加者が学習に取り組んだこと自体が大変すばらしいことであることを伝える。	

※時間が取れない場合は、ワーク1、ワーク2のどちらかだけを行う。